

令和7年度第1回衣川地域会議

日時：令和7年6月3日（火）午後2時～

場所：衣川保健福祉センター 多目的ホール

委嘱状交付
市民憲章唱和

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 出席職員紹介
- 4 議事録署名人及び会議書記の選任
- 5 報 告
 - (1) 未来羅針盤プロジェクトの進捗状況について
 - (2) 過疎地域持続的発展計画の策定について
 - (3) 令和7年度衣川地域の主要事業について
 - (4) 森林体験事業「森ノ巣」について
 - (5) 衣川地域における公共施設個別計画について
 - (6) その他
- 6 協 議
 - (1) 衣川地域の地域課題に対する提言について
 - (2) その他
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

～ 奥州市民憲章 ～

わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。

- － ふるさとを愛し いきいきと働くことができるまちをつくります
- － すすんで学び 文化のかおり高いまちをつくります
- － みんなが手をつなぎ 健康で明るいまちをつくります

《平成19年2月20日制定》

衣川地域会議委員名簿

(任期：令和6年7月22日～令和8年3月31日)

構成	フリガナ	備考
	氏 名	
北股地区振興会	サトウ シミズ	令和7年6月3日から
	佐藤 清水	
南股地区振興会	ツカモト ヤスオ	
	塚本 康雄	
衣川地区振興会	タカハシ アツシ	
	高橋 厚	
衣里地区振興会	コンノ ヒロアキ	令和7年6月3日から
	今野 弘昭	
衣川行政区長協議会	ヨシダ ユウエツ	令和7年6月3日から
	吉田 裕悦	
衣川民生児童委員協議会	ツクエチ キクコ	
	机地 喜久子	
岩手ふるさと農業協同組合	スガワラ ヨシユキ	
	菅原 良行	
衣川スキー協会	ツクエチ タクミ	
	机地 巧	
奥州地方森林組合	タカハシ アツコ	
	高橋 厚子	
衣川中学校PTA会長	アベ ユウ	
	阿部 雄	
奥州商工会議所衣川支所	ミウラ ヒデオ	
	三浦 秀夫	
(産業)	サトウ ミチオ	
	佐藤 美智男	
(若者)	タカハシ カズユキ	
	高橋 一幸	

事務局

職	氏名	
衣川総合支所官	及川 協一	
衣川総合支所副支所長	石川 栄喜	
衣川総合支所副支所長	及川 琢也	
衣川診療所事務長	壽 教安	
地域支援グループ次長	佐藤 健一	
地域支援グループ主査	伊藤 道則	

未来羅針盤プロジェクトの進捗状況について

令和7年度地域会議説明資料
政策企画部未来羅針盤課

1 奥州市未来羅針盤プロジェクトの事業化

- 直面する課題を解決し、持続可能なまちづくりを進めるため、「奥州市未来羅針盤図」を策定しました。

※奥州市未来羅針盤図（全体図）：2ページ

- 未来羅針盤図は、「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」におけるまちづくりの開発イメーজとして位置づけて進めることとしています。総合戦略の4つの基本目標を達成するための開発プロジェクト（＝未来羅針盤プロジェクト）として具現化（事業化）していきます。

- 未来羅針盤プロジェクトの事業化は、「未来投資枠予算」として、通常予算とは別に予算枠を確保して推進していきます。

- 令和7年度における未来羅針盤プロジェクト事業は3、4ページに掲げる一覧のとおりであり、プロジェクトの進め方が具体化し、予算計上が可能となった事業について盛り込みました。

※令和7年度未来羅針盤プロジェクト事業一覧：3、4ページ

2 未来羅針盤プロジェクトの進捗状況

- 未来羅針盤プロジェクト全体の進捗管理は、総合戦略を所掌する「人口プロジェクト推進委員会」で行っています。また、プロジェクト毎に部会を設置し、分野横断的にその取組を進めています。

なお、羅針盤プロジェクト事業は、各プロジェクト部会においてその内容について協議を進め、幹事となっている部局において必要予算を確保し、当該部局を中心に実施していきます。

※未来羅針盤プロジェクト推進体制：5ページ

- 羅針盤プロジェクトの4月末時点の進捗状況は、6～8ページに掲げる一覧のとおりです。

各プロジェクト部会においては、部会のほか、必要に応じて個別テーマ別や担当部局別に会議を開催し、課題や事業内容等について協議、調整しています。

今後、各部会の協議を進め、その熟度に呼応した予算を確保しながら、羅針盤プロジェクトの円滑な推進に努めていきます。

※未来羅針盤プロジェクト進捗状況：6～8ページ

奥州市未来羅針盤図

市が目指すまちの開発デザイン

全市展開

1 地域医療奥州市モデルプロジェクト

地球全体をカバーするネットワーク型による地域医療体制の構築

2 未来型公共交通プロジェクト

利便性の高い持続可能な公共交通システムの構築

3 小さな拠点づくりプロジェクト

地球住民・民間組織・市の協働による持続可能な生活圏の維持

江刺市街地エリアプロジェクト

誘致企業雇用者対策、官民連携による
市街地有効活用

水沢市街地エリア プロジェクト

メイプルリニューアール、
水沢公園リニューアール、
駅前周辺の賑わいの創出

小さな拠点づくり(伊手) プロジェクト

密着による持続可能な生活
圏の維持(旧伊手小学校を
活用した拠点づくり)

水沢江刺駅周辺エリア プロジェクト

南岩手交流プラザリニューアール、
駅周辺開発、緑地産業と連携した
情報発信の強化

前沢市街地エリアプロジェクト

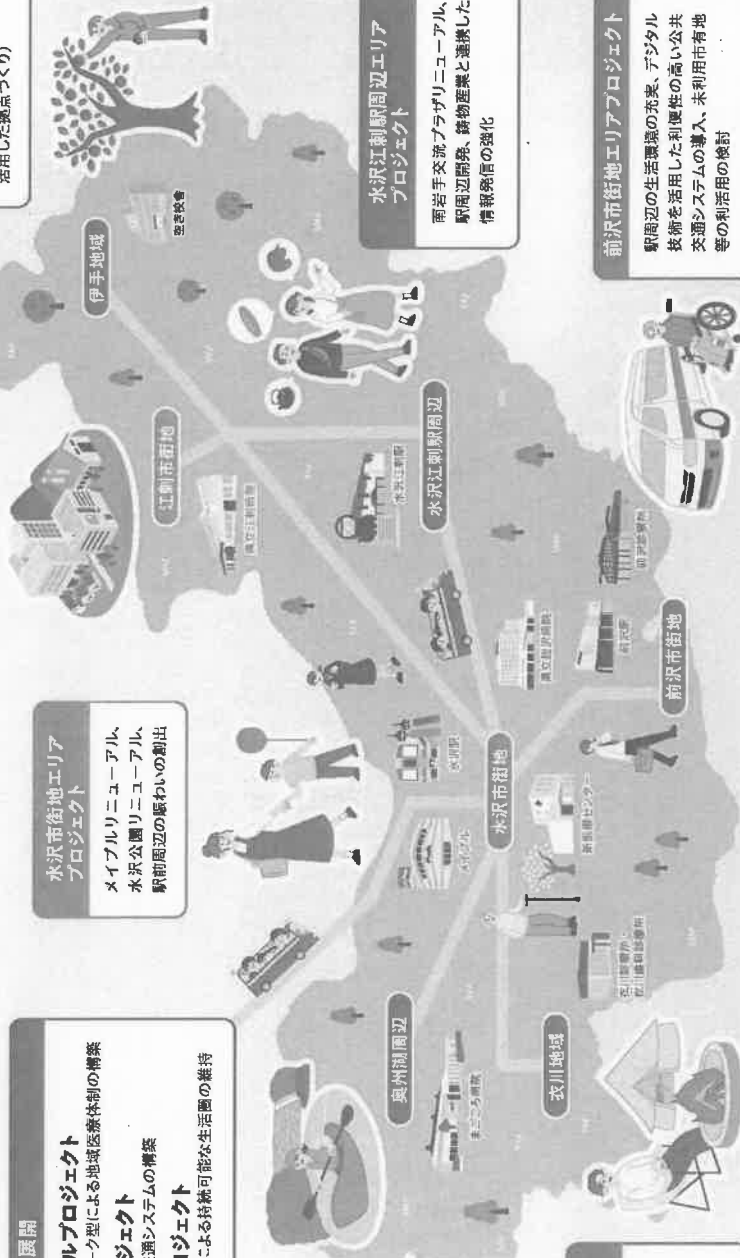
駅周辺の生活環境の充実、デジタル
技術を活用した利便性の高い公共
交通システムの導入、未利用市有地
等の利活用の検討

奥州湖周辺エリア プロジェクト

アウトドアフィールド・
アクティビティの開拓と
人材育成、民間企業との
連携強化

小さな拠点づくり(衣川) プロジェクト

協働による持続可能な生活
圏の維持(見守り電灯を使った
高齢者の見守り、民生委員活
動にタブレット活用など)



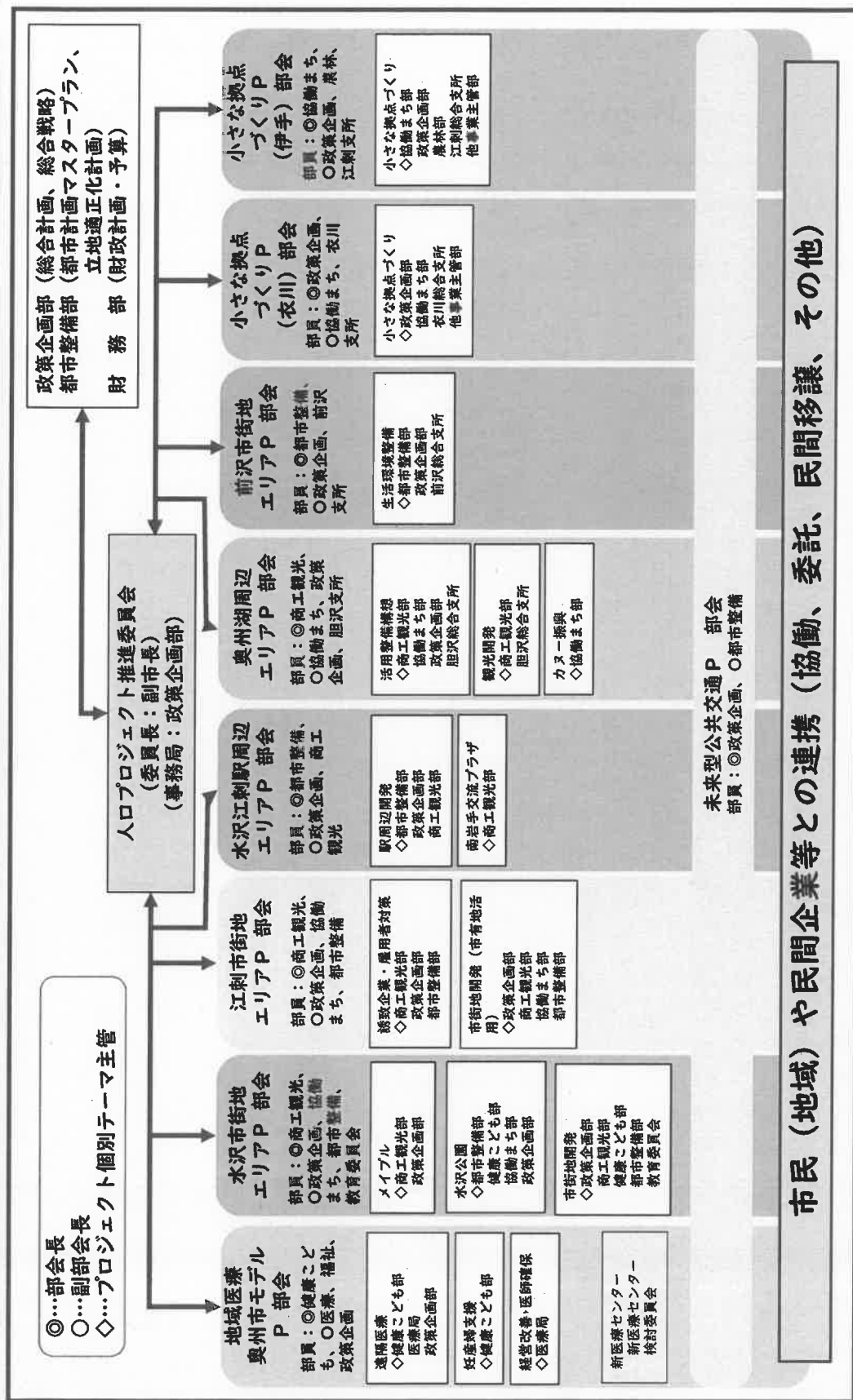
令和7年度未来羅針盤プロジェクト事業一覧(1/2)

No.	個別事業名	事業の概要	予算額 (千円)	事業担当 プロジェクト部会	事業担当部局
1	未来羅針盤プロジェクト推進事業	未来羅針盤プロジェクト関係者との協議や意見交換、政策アドバイザー業務の委託等	9,781	—	政策企画部
2	江刺市街地エリアプロジェクト事業	江刺市街地エリア開発整備計画策定業務	26,510	江刺市街地P	政策企画部
3	水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト事業	水沢江刺駅周辺利用実態調査業務	1,980	水沢江刺駅周辺P	政策企画部
4	移住者住宅取得支援事業	移住者住宅取得支援補助金	30,000	—	政策企画部
5	旧伊手小学校複合施設整備事業	小さな拠点づくり推進に係る拠点施設(旧伊手小学校利活用複合施設)整備工事等	314,644	小さな拠点P (伊手)	協働まちづくり部
6	公共交通DX推進事業	A Iデマンド交通に係るシステム使用料及び運行補助金、デジタルサイネージの導入等	24,375	未来型公共交通P	政策企画部
7	民生委員ICT活用事業	民生委員活動でのタブレット端末の活用	4,039	小さな拠点P (衣川)	福祉部
8	産後ケア事業	母子の心身ケア、育児サポート等支援事業(宿泊型、日帰り型、訪問型)の実施	22,732	地域医療P	健康こども部
9	モバイルクリニック事業	オンライン診療を行う遠隔診療車の運行	24,993	地域医療P 小さな拠点P (衣川)	健康こども部
10	新医療センター推進事業	新医療センターの整備を進めるための専門的見地によるアドバイザーの活用、先進事例の調査研究等	1,643	地域医療P	健康こども部

令和7年度未来羅針盤プロジェクト事業一覧(2/2)

No.	個別事業名	事業の概要	予算額 (千円)	事業担当 プロジェクト部会	事業担当部局
11	奥州湖周辺エリア 活用整備推進事業	奥州湖周辺エリアを拠点とした官民連携による観光情報発信やアウトドアツーリズム拠点施設整備事業及びアウトドアツーリズム推進事業等に対する補助金の交付	21,315	奥州湖周辺P	商工観光部
12	南岩手交流プラザリ ニューアル事業	南岩手交流プラザの展示品や観光案内の在り方を見直し、これまで以上に市の魅力を発信することができる施設にするとともに、来訪者がより快適に過ごせることができるよう施設を改修	3,000	水沢江刺駅周辺P	商工観光部
13	道路整備事業（江刺 工業団地）	江刺工業団地における渋滞緩和に有効な路線の測量設計業務	98,312	江刺市街地P	都市整備部
14	賑わい創出・都市再 生事業	都市計画マスタープランの方針に基づき都市拠点となる市街地の賑わいづくりや魅力的な生活環境を確保する取組を展開	20,636	水沢市街地P 前沢市街地P	都市整備部
15	カヌー等推進事業	ジャパンカヌーの誘致、競技場の維持管理・整備等	15,477	奥州湖周辺P	協働まちづくり部
16	奥州湖交流館改修事 業	奥州湖交流館を改修し、カヌートレーニングセンターとしての機能を持たせるもの。	330,974	奥州湖周辺P	協働まちづくり部

奥州市未来羅針盤プロジェクトの推進体制



上記白抜きの個別事業については、既に動いているもの、開発イメージが見えているものを掲載。新規案件については具体化の目途が見えた都度、追加掲載する。

◎未来羅針盤プロジェクト進捗状況 (令和7年5月時点)

部会名＜統括部局＞	これまでの到達点	今後の進め方	令和7年度の取組予定と予算措置状況
地域医療費負担率の削減 プロジェクト＜健康こども部＞	・地域医療費負担率の削減(5.6) ・新医療センター整備(6.1) ・衣川地域での遠隔診療車運行開始(R6.1) ・産後ケア事業(ホテル日帰りケア)開始(R6.6) ・新医療センター整備(本計画(中間案)策定(R6.8)、シンポジウム及び市民説明会開催(R7.2～4))	・当プロジェクトは、全体の方向性を定めた地域医療費負担率削減プロジェクト全体の推進に支障となる大きな課題が生じた場合には部会を開設し、その対応策を検討する。 ・現在進めている個々の取組の中では、それぞれ大小様々な課題はあるが、地域医療費負担率の削減や在宅医療・介護連携推進協議会など関係者で構成される協議体があり、それらの協議の中で課題解決に向けた検討を行い、推進していく。 ・「医療情報共有・ネットワーク化」は、今後、健康こども部を事務局に、医療局が主体の検討母体となり、実現に向けた協議を進める。 ・地域包括ケアシステムの推進は、新医療センター建設の今後のあり方の中で非常に大きなウェイトを占める事業であり、市全域をカバーできる取組体制を構築する必要がある。 ・その上で「新医療センター」を、総合水沢病院を時代に即した病院に転換し、妊産婦サポート、子育て支援、健康寿命を伸ばす取組等を推進し、地域医療行政の推進拠点化に資する施設として整備する。	◆令和7年度の取組予定 ・新医療センター整備基本計画修正案の公表、パブリックコメント実施 ・衣川地域での遠隔診療車の運行及び他地域への横展開に向けた検討、実証事業 ・産後ケア事業は、現行の宿泊ケア・日帰りケア・訪問ケアを継続しつつ、受け入れ枠の拡充や温泉施設を活用した日帰りケアの開始、一時預かり利用助成事業の開始など、サービスを拡充 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・新医療センター推進事業(健康こども部) 1,643千円 ・モバイルクリニック事業(健康こども部) 24,993千円 ・産後ケア事業(健康こども部) 22,732千円
未来型公共交通プロジェクト＜政策企画部＞	・前沢地域で運行している「ハートパス」において、AIデマンド交通システムを導入(R7.2) ・交通系ICカードによる運行決済システムを導入(R6.12) ・デジタルサイネージの設置(R6.12)	・デジタルサイネージは、主要施設に順次導入を進める。 ・自動運転バス(レベル4)及びライドシェアは、導入に向けて情報収集するとともに先進地視察等の調査研究を行う。 ・導入済の交通空白地有償運送(地区内交通)について、実施主体(各地区振興会等)と協議を行い、必要に応じて改善していく。 ・公共交通分野におけるデジタル技術の活用は令和6年度に概ね導入してきたが、ランニングコストの捻出が課題となるため、利用者増などの取組にも努める。併せて、運転手不足への対策も検討する。	◆令和7年度の取組予定 ・デジタルサイネージの追加設置 ・自動運転、ライドシェア等に関する調査検討 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・公共交通DX推進事業(政策企画部) 24,375千円
小さな拠点づくり(衣川)プロジェクト＜政策企画部＞	・衣川地域をモデル地区指定(R4.6)、衣川地域振興会連絡会とモデル事業実施協定締結(R4.10) ・4事業に順次着手、うちデジタル活用支援事業をR5全市展開 ・衣川地域での遠隔診療車運行開始(R6.1)	・市が提案したモデル事業については着手済みであり、地域主体の取組の検討を進めるため、調整役となるコーディネーター(外部人材)を配しつつ、地域との意見交換、協議等を継続していく。 ・モバイルクリニックの活用として、地域のイベント開催時に会場で健康診断を実施するなど、衣川地域の健康診断受診率の向上に取り組む。 ・効果が高められたモデル事業の横展開の方法等について、関係部署との調整、検討を進め、横展開につなげていく。	◆令和7年度の取組予定 ・コーディネーターの配置 ・民生委員ICT活用事業 ・モバイルクリニックの活用 ・高齢者見守りサービス事業(見守り電球)の実証結果公表 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・モバイルクリニック事業(健康こども部) 24,993千円(再掲) ・民生委員ICT活用事業(福祉部) 3,085千円

◎未来羅針盤プロジェクト進捗状況 (令和7年5月時点)

部会名＜統括部局＞	これまでの到達点	今後の進め方	令和7年度の取組予定と予算措置状況
小さな拠点づくり (伊手)プロジェクト ＜協働まちづくり部＞	・旧伊手小学校活用基本構想の収容(R5.10) ・複合施設改修工事にかかる事前調査設計業務の実施(R6.1) ・小さな拠点づくりモデル地区指定(R6.3) ・小さな拠点づくりモデル事業実施協定締結(R6.5) ・(一社)いであい設立(R7.2)	・複合施設化を目的とした大規模改修を行うため、令和6年度に実施設計業務、令和7年度に大規模改修工事を実施し、遅くとも令和8年4月の供用開始を計画する。 ・地域のまちづくりに活用する部分の整備は、地域側の意見を聞いて、地域課題解決を図る施設になるようにする。 ・地域の生業となることを目指し、(一社)いであいの活動を支援する。	◆令和7年度の取組予定 ・旧伊手小学校大規模改修工事 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・旧伊手小学校複合施設整備事業(協働まちづくり部) 314,644千円
水沢市街地エリアプロジェクト＜商工観光部＞	・メイプル財産取得(R5.8) ・市営開始(R5.10) ・国交省サウンディング参加(R5.11) ・メイプルAMプラン策定(R6.9) ・メイプル再生事業者、テナント候補者に対するサウンディング調査(R6.10～)	・当プロジェクトでは、メイプルリニューアルが最重要かつ喫緊の課題である。このリニューアル事業は、羅針盤プロジェクトの基本コンセプトである官民共創を軸として進める初めての事業であり、その成否は羅針盤プロジェクト全体の推進に影響を及ぼすことから、他のプロジェクトの指針となりえるような形で進めている。 ・官民共創は様々な手法があるが、それらを実施するためのノウハウや経験が不足しているため、今後、外部機関の協力も含め、推進体制を構築しながら進めていく。 ・水沢公園リニューアルでは、敷地内に建設予定の新医療センターの概要(規模、場所等)が固まり次第、全体の活用方法について着手することとし、併せてエリア全体が「ウォーカーフレンド空間」となるよう配慮のうえ検討を進める。 ・今後は担う世代によるまちづくりワークショップやシンポジウムなどを開催し、将来的なまちづくり運営会社との連携を見据えたエリアマネジメントを進める。	◆令和7年度の取組予定 ・再生事業者(MI/PM)の選定 ・都市再生整備計画の策定 ・市民参加型ワークショップの実施 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・賑わい創出・都市再生整備事業(都市整備部) 20,636千円
江刺市街地エリアプロジェクト＜商工観光部＞	・江刺市街地開発スケジュール案の作成 ・市街地開発に係る民間事業者との意見交換や情報収集 ・旧イオン江刺底地の不動産鑑定発注(R6.1) ・プロポーザル事業者決定・構想策定開始(R6.8) ・パブリックコメント実施(R7.2) ・江刺市街地エリア開発整備構想策定(R7.3)	・江刺市街地エリアの開発について、官民共創による「居住環境の整備」と「ビジネス環境の整備」を柱として令和6年度に策定した基本構想に基づき、令和7年度中に基本計画を策定する。 ・「居住環境の整備」については、移住定住対策や住みよい都市機能のあり方(文化・子育て機能等)などを含めて検討を進める。 ・現在推進中の江刺工業団地の渋滞緩和対策を滞りなく進める。 ・移住・定住策の着実な実施に取り組む。 ・市内に居住する外国人は増加傾向にあり、今後も江刺工業団地における雇用増などから更なる増加が見込まれるため、雇用や生活に関する支援策を検討する。	◆令和7年度の取組予定 ・江刺市街地エリア開発基本計画の策定、概算事業費の算定 ・都市再生整備計画の策定開始 ・市道南八日市新地野線複線化及び交差点改良等事業詳細設計 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・道路整備事業(江刺工業団地)(都市整備部) 98,312千円 ・江刺市街地エリアプロジェクト整備事業(政策企画部) 26,510千円

◎未来羅針盤プロジェクト進捗状況（令和7年5月時点）

部会名＜統括部局＞	これまでの到達点	今後の進め方	令和7年度の取組予定と予算措置状況
水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト＜都市整備部＞	・エリア開発に係る民間事業者との意見交換や情報収集 ・水沢江刺駅周辺エリア開発基本構想(案)の策定(R7.3)	・民間資本の呼び込みを目指すし、水沢及び江刺の市街地開発構想と結びつけられるかどうか検討を進める。 ・水沢江刺駅開発基本構想策定に向けて、駅利用者へのアンケート調査及び駅周辺の駐車場利用実態調査を行い、ニーズを把握する。 ・南岩手交流プラザリニューアルの基本設計及び実施設計を行い、令和8年度着工を目指す。	◆令和7年度の取組予定 ・駅利用者アンケート調査の実施 ・駅周辺駐車場実態調査の実施 ・南岩手交流プラザリニューアル基本設計業務プロポーザルの実施 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・水沢江刺駅周辺利用実態調査業務 1,980千円 ・南岩手交流プラザリニューアル事業 3,000千円
奥州湖周辺エリアプロジェクト＜商工観光部＞	・奥州湖周辺エリア活用整備構想(案)に対するバリエーションコメントの実施(R6.1～2) ・奥州湖周辺エリア活用整備構想の策定(R6.3) ・奥州湖交流館改修工事実施設計完成(R6.11) ・奥州湖周辺エリアプロジェクト推進組織設立準備会設置(R7.3)	・当プロジェクト推進の基本的な方向性を整理した「奥州湖周辺エリア活用整備構想」は、令和6年3月に策定が完了した。 ・当構想に基づく個別・具体の事業等については、官民連携の手法での具現化を念頭に、必要に応じて関係団体、事業者、市民等とも連携・協議を進め、投資効果等も勘案しながら、最終的には市総合計画に位置付けたいと考えて取組む。 ・当構想に基づき当面の実施を見込むものとして、「奥州湖交流館の再整備」、「アウトドアアツurisムのモデルルートの構築」、「河川空間オープン化の実証実験」を予定している。 ・アウトドアアツurisムの推進において、「受け入れ体制の整備、人材育成」をどう進めるかが喫緊の大きな課題である。令和8年度に見込む「奥州湖交流館」のリニューアルオープンまでを目途に、奥州湖周辺エリアプロジェクト推進組織設立準備会において「統一的な窓口機関」の設置に向けた体制整備、人材育成を進めていく。	◆令和7年度の取組予定 ・奥州湖交流館改修工事 ・推進組織設立準備会における推進組織の検討、河川空間オープン化に向けた実証・検討 ・活用整備構想に基づき具体的取組の検討（ジャパンエコトラックのコース検討等） ・モンベルと連携した情報発信 ・カヌー・ジャパンカップ誘致、競技場整備 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・奥州湖周辺エリア活用整備推進事業(商工観光部) 21,315千円 ・カヌー等推進事業(協働まちづくり部) 15,477千円 ・奥州湖交流館改修事業(協働まちづくり部) 330,974千円
前沢市街地エリアプロジェクト＜都市整備部＞	・前沢地域で運行している「ハートバス」において、AIデマンド交通システムを導入(R7.2)（再掲） ・前沢市街地都市再生事業検討（R7.1～）	・前沢駅周辺の生活環境充実（アクセス環境、防犯力向上）のため、前沢市街地都市再生事業実施検討業務において交通量調査等を実施し、各関係機関との協議を進める。	◆令和7年度の取組予定 ・都市計画道路の見直し路線、事業化路線の選定 ◆令和7年度当初予算措置状況 ・賑わい創出・都市再生整備事業(都市整備部) 20,636千円（再掲）

次期過疎地域持続的発展計画の策定について

1

1 国の過疎地域に対する支援策について

(1) 支援に関する法令の経過

昭和45年	過疎地域対策緊急措置法（10年間）
昭和55年	過疎地域振興特別措置法（10年間）
平成2年	過疎地域活性化特別措置法（10年間）
平成12年	過疎地域自立促進特別措置法（10年間）
平成22年	6年間期間延長（H28.3月末まで）
平成28年	5年間期間延長（R3.3月末まで）

令和3年（現行法） 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（10年間、R13.3月末まで）

※歴代の過疎支援法令は、10年間の時限立法を繰り返している。

(2) 現行法のポイント

- ・長期の人口減少率の基準年の見直し（S35年→S50年）
- ・財政力が低い市町村に対する長期の人口減少率要件の緩和（28%→23%）
- ・平成の大合併による合併市町村の「一部過疎」の要件設定
- ・旧法の過疎地域を対象に長期の人口減少率の基準年（S35年）の併用、「みなし過疎」の継続措置

令和7年6月3日 政策企画部政策企画課

2 これまでの過疎地域支援策の活用状況

年度	事業名	地区
継続事業	光ネット整備事業	江刺
	土地改良事業	江刺・衣川
	通学路危険個所対策工事	江刺・衣川
	道路改良修繕工事	江刺・衣川
	橋梁長寿命化修繕事業	江刺・衣川
	消防施設整備整備事業	江刺・衣川
	長者ヶ原廃寺跡整備事業	衣川
	旧簡易水道事業（配水管布設替・設備改良・更新等）	江刺・衣川
R4	ロードヒーティング整備事業	江刺
	玉里小学校統合受入改修事業	江刺
	スクールバス更新事業	江刺・衣川
R5	江刺ひがしこども園建築事業	江刺
	江刺ふるさと市場施設整備事業	江刺
	歴史公園えさし藤原の郷施設改修事業	江刺
	民生委員ICT活用事業	衣川
	モバイルクリニック事業	衣川
R6	江刺ひがしこども園建築事業	江刺
	小学校空調設備設置工事（江刺ひがし小・衣里小）	江刺・衣川
	中学校空調設備設置工事（衣川中）	江刺・衣川
	衣川社会体育館屋根改修・トイレ洋式化	衣川
	モバイルクリニック事業	衣川
	旧衣川荘経営安定化補助金	衣川

次期過疎地域持続的発展計画の策定について

2

令和7年6月3日 政策企画部政策企画課

3 次期過疎地域持続的発展計画について

(1) 計画策定の趣旨

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年法律第19号）の規定に基づき、人口の著しい減少等に伴って地域社会の活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施することにより地域の持続的発展を図り、人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上等に寄与することを目的として次期過疎地域持続的発展計画（以下「過疎計画」という。）を策定する。

なお、令和7年12月に策定が予定されている「岩手県過疎地域持続的発展方針」を踏まえて策定するものとする。

(2) 地域の持続的発展のための基本方針

江刺地域及び衣川地域のそれぞれの地域の資源と特性を活かし、強みを更に伸ばし、弱みを強みへと変えるまちづくりを進めることで持続可能な社会の形成を目指す。

(3) 地域の持続的発展のための基本目標

前期計画に引き続き「奥州市総合計画」に掲げる6つの大綱を基本目標とするほか、「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる人口目標を本計画期間における人口目標とする。

(4) 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

4 策定スケジュール

時期	R7.9月	10月	11月	12月	R8. 1月	2月	3月
計画策定作業	・原案作成 ・対象事業の洗い出し		・県事前協議	・地域会議への説明 ・計画案を全協へ説明	・県正式協議	・議会へ提案 ・過疎計画（策定）議決	
総合計画見直し	実施計画（R8～10）の見直し			反映			

※策定後は、総合計画実施計画の見直しに併せ、必要に応じて後期過疎計画の見直しを行う。

次期過疎地域持続的発展計画の策定について

3

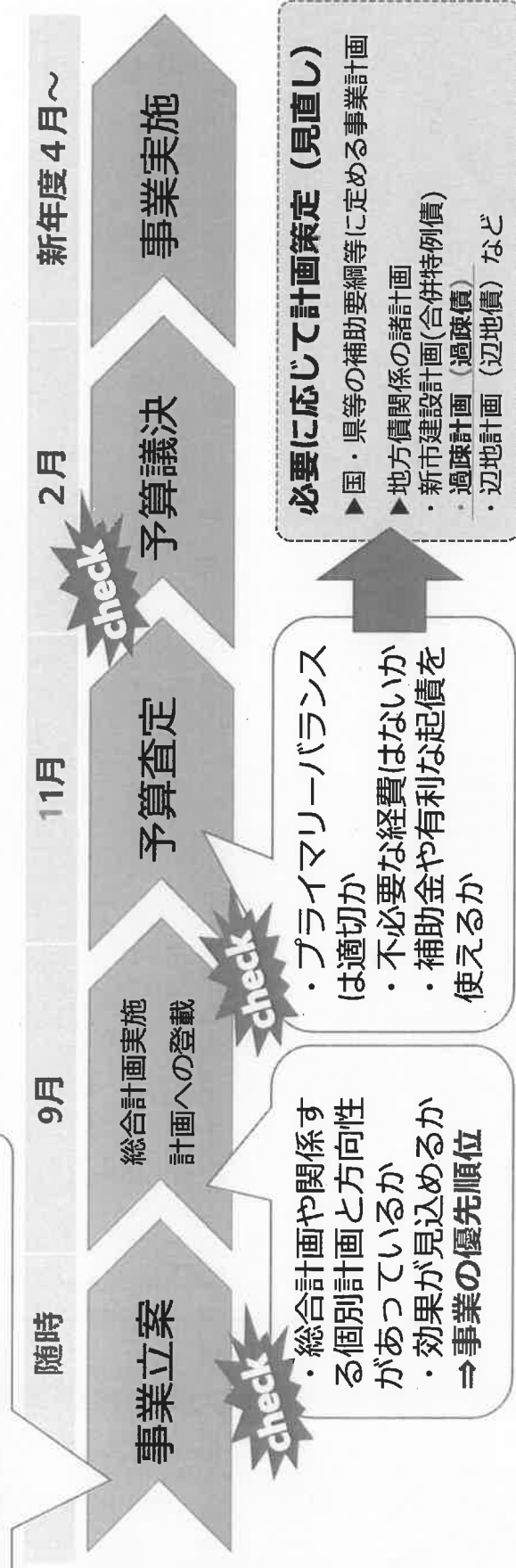
令和7年6月3日 政策企画部政策企画課

5 過疎債の活用について

- ・ 過疎地域持続的発展計画を策定することで、過疎地域に指定されている地域に必要な事業を行なう場合に、自治体の負担が比較的少ない地方債（過疎債）を活用できるようになるもの。
- ・ 過疎債はあくまで市の借金であることから、将来にわたって市が返さなければならぬ負担を考えて計画的に活用していく。

6 事業の予算化の流れ

事業担当課が、総合計画の方向性、住民ニーズや地域課題等を踏まえて検討



令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
1	スマートフォン講習会	(市全体) 0 千円	総務部 行革デジタル戦略課
事業概要			
スマートフォン(スマホ)の操作やオンラインサービスの利用に不安がある高齢者等が少なからずいる一方、オンラインで提供されるサービスが増えていることから、誰もがスマホを不安なく利用して、デジタル化による利便性向上の恩恵を得られるよう取り組みます。行革デジタル戦略課が実施団体及び地区センターと日程調整し、地区センター単位でスマホ講習会を実施します。 (1) 時期:令和7年7月~12月の平日日中 (2) 会場:各地区センター (3) 時間:1回2時間 (4) 募集人数:1回12名程度 (5) 対象者:スマホを持っていない方、スマホの利用に不安がある方 等 (6) 内容:電話/メール/カメラの使い方 インターネットの使い方 利用の際の注意点 ぼちっと奥州の紹介等 (7)実施予定事業者 ドコモショップ奥州みずさわ店・えさし店			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
2	高齢者デジタルサポーター育成講習会	(市全体) 946 千円	総務部 行革デジタル戦略課
事業概要			
スマホ等デジタル機器の操作が不慣れな高齢者に、同じ目線で機器の操作方法等の説明や相談に応じる「高齢者デジタルサポーター」を育成し、他地域に移動せずに身近なところでサポートできる体制を作ります。また、既存サポーターに対してレベルアップ講習会を実施します。 【新規サポーター育成講習会】 (1) 時期:令和7年11月頃の平日日中(予定) 1回2時間の講習×4日間 (2) 会場:市内1か所 (3) 育成人数:最大20名(午前10名、午後10名) (4) 受講者:スマートフォン利用者 【サポーターレベルアップ講習会】 (1) 時期:令和7年11月頃の平日日中(予定) 1回2時間の講習 (2) 会場:市内2か所 (3) 対象人数:12人/回 (4) 受講者:R4~R6のデジタルサポーター認定者(74名)のうちの希望者 (5) 内容:サポーターの要望に応じ、カリキュラムを事業者と検討中			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
3	公共施設予約システムの利用推進	(市全体) 2,376 千円	総務部 行革デジタル戦略課
事業概要			
いつでも、どこでも、誰もが行政サービスを利用できる環境の構築のため、紙・対面で行われていた公共施設予約について、オンライン予約、使用料のオンライン決済可能なシステムを令和6年3月に導入しました。利用者登録団体は1,000団体以上となり、ネット予約の利用拡大が図られています。 現在の導入施設は55施設(各地区センター30施設含む)となっており、施設利用者の利便性向上を進めます。 また、施設管理者側でも使いやすいシステムとするために、予約管理やオンライン決済等、必要に応じてシステム更新を図っていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
4	協働の提案テーブル事業	(市全体) なし	協働まちづくり部 地域づくり推進課
事業概要			
協働の提案テーブルとは、各主体(地域自治組織(地区振興会等)や市民公益活動団体(NPO法人等)、企業、市)の協働意識の向上を図るとともに、協働による地域課題の解決を図ることを目的に平成28年度から運用しています。 具体的には、各主体が地域の課題解決のための提案を持ち寄り、協働事業化に向けて知恵を出し合う場であり、その中で、 ①事業が協働事業として、実施が可能か。 ②協働の形態がどれが適するか。協働のパートナーの妥当性、協働で実施できる分野の検討、協働の役割分担をどうするか。 ③協働事業として適正な事業費の検討。また、奥州市市民提案型協働支援事業補助金など補助制度の支援メニュー活用の検討。 ④お互いの持っている情報の交換。情報共有。信頼関係の構築。 などについて話し合い、双方の合意が得られた案件について、協働事業につなげています。 協働により解決策が見いだせる案件がありましたら、地域づくり推進課までご相談下さい。			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
5	はたち 二十歳のつどい	(市全体) 1,311 千円	協働まちづくり部 生涯学習スポーツ課
事業概要			
「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」という成人の日の趣旨に基づき、二十歳のつどいを開催します。 ・開催予定日 令和8年1月11日(日) ・開催場所 奥州市文化会館(Zホール) ・対象年齢 20歳			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
6	奥州市重層的支援体制整備事業	(市全体) 35,212 千円	福祉部 地域共生社会課
事業概要			
令和7年4月1日開始の事業です。地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築を目的に、【Ⅰ】属性を問わない相談支援、【Ⅱ】参加支援、【Ⅲ】地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に提供するため、①包括的相談支援事業、②参加支援事業、③地域づくり事業、④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、⑤多機関協働事業の5つの事業を実施します。次のとおり体制を整え、事業を推進します。 (1) 地域共生社会課の設置(①包括的相談支援事業、⑤多機関協働事業を担当) ・基幹型地域包括支援センター(奥州市地域包括支援センター)を、事業を主管する「地域共生社会課」としてリニューアルしました。 ・「多機関協働推進員」を配置して支援者支援の機能を拡充し、関係機関が協力して、チームとして課題に対応するための体制づくりを進めます。 ・各分野の総合相談窓口はこれまでどおり維持し、各窓口で市民の相談を受け止めて適切な機関につなぎ、連携して対応します。 (2) 地域福祉コーディネーターの配置(②参加支援事業、③地域づくり事業、④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を担当) ・(社福)奥州市社会福祉協議会への業務委託により、3事業を一体的に行う「地域福祉コーディネーター」を配置しています。 ・地域福祉コーディネーターが地域に出向き、潜在的な支援ニーズを拾い上げるほか、地域に寄り添って市民の地域福祉活動を支援します。			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
7	道路新設改良事業	(市全体) 98,312 千円	都市整備部 土木課
事業概要			
江刺中核工業団地及び江刺フロンティアパークの基幹道路となっている市道南八日市新地野線の、朝夕における渋滞緩和や、江刺フロンティアパークⅡを中心とした雇用増に対応すべく通勤環境の整備に取り組んでいます。 工業団地内における渋滞緩和に有効な路線の改良や部分改修を行うための測量設計業務を行います。 【測量設計委託】 ・南八日市新地野線(4車線化) ・五道ヶ辻歌読線(現道拡幅) ・工業団地Ⅰ号線(交差点改良)			

令和7年度 市全体の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
8	奥州市文化財保存活用地域計画作成事業	(市全体) 5,937 千円	教育委員会事務局 歴史遺産課
事業概要			
市内に存在する未指定を含む文化財の保存・活用の方針を決定するため、標記計画を作成するものです。			

令和7年度 衣川地域の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
1	過疎地域持続的発展計画の策定	(地域) —	政策企画部 政策企画課
事業概要			
現行過疎法に基づき令和3年度に策定した奥州市過疎地域持続的発展計画（以下「過疎計画」という。）について、令和7年度をもって計画期間が終了することから、今年度中に新たな過疎計画（後期計画）を策定します。 計画期間 令和8年4月1日～令和13年3月31日			

令和7年度 衣川地域の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
2	消防施設設備整備事業	(市全体) 109,612 千円	市民環境部 危機管理課
事業概要			
消防施設設備整備計画に基づき、消防力の適切な整備をすすめます。 ・消火栓移設工事 1基（衣川地区） ・消防屯所改築工事 1棟（南股地区）			

令和7年度 衣川地域の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
3	道路改良修繕事業	(市全体) 557,400 千円	都市整備部 土木課
事業概要			
【工事】 道路改良(歩行スペース設置) ・大面線 L=122m			

令和7年度 衣川地域の主要事業

No.	主要事業名	事業費	担当部課名
4	橋りょう長寿命化修繕事業	(市全体) 228,200 千円	都市整備部 土木課
事業概要			
【修繕】 ・増沢橋 L=38.0m 【点検】 4橋(衣川地区)/143橋(市内)			

令和7年度 衣川地域の主要事業

No.	主要事業名	事業費 (地域)	担当部課名
5	長者ヶ原廃寺跡整備事業	73,545 千円	教育委員会事務局 歴史遺産課
事業概要			
史跡柳之御所・平泉遺跡群長者ヶ原廃寺跡の保存及び公開活用を図るため、史跡地内の整備を行うものです。 令和7年度は整備予定地のうち、築地堀内部の2工区について、保存整備工事を実施します。			

令和7年度衣川森林体験事業実施要項（案）

「森林体験事業 森ノ巣」

1 目 的

「奥州市森林環境譲与税の活用に向けた基本方針（別添）」に基づき、森林資源の豊富な衣川地域をステージとして、令和7年度衣川森林体験事業を実施する。

引き続き、衣川ふるさと自然塾をステージとし、森林・林業の理解醸成を図る体験型メニューにより素朴な自然にふれ親しむとともに、地元団体や企業と連携して誘客を進め、交流人口の拡大を図る。

特にもツリークライミング®については、衣川ふるさと自然塾が県南エリアの一大スポットとなるよう、継続的に体験会を行っていくものとする。

2 主 催

奥州市

3 事業主体

奥州市衣川地域振興会連絡会

4 共 催

衣川地域会議、奥州商工会議所、奥州地方森林組合

5 後 援

奥州市政記者クラブ加盟各社

6 事業内容

令和7年10月4日（土）のメインイベントに加えて、7月5日、9月6日、10月11日に衣川ふるさと自然塾（荒天の場合は、施設内建物等）を会場として、以下のイベント等を実施する。なお、協議のうえで、目的の達成や天候の悪化等のために事業内容を変更することができるものとする。

(1) 森林環境・林業を理解する活動

(2) 木育活動

(3) 衣川ふるさと自然塾を生かした活動

(4) 森林環境・林業に関する情報発信等

衣川地域に係る公共施設等総合管理計画・個別施設計画の現状について

No	区分	施設名	サービス	建物等	スケジュール	適正化の具体策
1	地区センター	北股地区センター	継続	建替え	R7建替え	サービス提供及び施設の供用維持 令和7年度 を目途に建替え 施設の利用状況に合わせた規模に見直し 付帯体育館を伴わない規模に縮小
2	地区センター	南股地区センター	継続	建替え	R6建替え	サービス提供及び施設の供用維持 令和6年度 を目途に建替え 施設の利用状況に合わせた規模に見直し 付帯体育館を伴わない規模に縮小
3	地区センター	衣川地区センター	継続	大規模改修	R5移転	サービス提供及び施設の供用維持 令和5年度 を目途に大規模改修し、移転 既存建物は取壊し、土地は返却
4	地区センター	衣里地区センター	継続	大規模改修	R26改修	サービス提供及び施設の供用維持 令和26年度 を目途に大規模改修
5	社会教育施設	衣川セミナーハウス	廃止	解体撤去	R33解体撤去	令和33年度 を目途に解体撤去を検討 図書室・児童クラブは近隣施設に移転 廃止までは必要な点検と補修を行う。
6	スポーツ施設	衣川野球場	廃止	解体撤去	R11廃止	土地賃貸借契約書満了の 令和11年度 を目途に廃止 廃止までは事後保全とし、直営管理を維持
7	スポーツ施設	衣川社会体育館	廃止	解体撤去	R19廃止	令和19年度 を目途に廃止 廃止までは事後保全とし、直営管理を維持
8	スポーツ施設	衣川柔剣道場	廃止	解体撤去	廃止	使用できる間、存続させ、その後廃止 廃止までは点検と補修を行い、直営管理を維持
9	スポーツ施設	衣川温水プール	廃止	解体撤去	廃止	平成29年度用途廃止
10	博物館施設	衣川歴史ふれあい館	継続	廃止	廃止	令和10年度 を目途に解体撤去 サービスは他の複合施設に統合 土地は所有者に返却
11	工業施設	衣川下請等施設 池田	廃止	譲渡・解体撤去	譲渡・解体撤去	建物は借主企業に譲渡し、土地は地権者と直接契約 令和18年度 までに条件整備
12	工業施設	衣川下請等施設 九輪堂	廃止	譲渡・解体撤去	譲渡・解体撤去	建物は借主企業に譲渡し、土地は地権者と直接契約 令和18年度 までに条件整備
13	観光施設等	国見平スキー場	継続	維持	維持	スキー場のあり方検討結果が出るまで現状維持 あり方検討結果に基づき民間移譲を目指しているが、現在は指定管理にとどまる。
14	観光施設等	ふるさと自然塾	継続	維持	維持	必要な点検や補修により維持。更新は行わない。
15	観光施設等	黒滝温泉	廃止	維持	維持	必要な点検や補修により維持。更新は行わない。
16	観光施設等	国見平温泉	廃止	維持	維持	必要な点検や補修により維持。更新は行わない。
17	産業系施設	衣川民芸屋敷	廃止	譲渡	譲渡	財産処分制限期間を経過する 令和7年度 を目途に譲渡又は貸付を行う。
18	産業系施設	衣川食材供給施設	廃止	譲渡	譲渡	財産処分制限期間を経過する 令和5年度 を目途に使用者への譲渡又は貸付を行う。
19	子育て支援施設	あゆみ園	継続	大規模改修	R21大規模改修	地域内に民間幼保施設がなく、参入予定もない。 地域内の施設として、市直営で存続する必要がある。 サービス提供及び施設の供用維持
20	保健施設	衣川保健福祉センター	継続	維持	維持保全	サービス提供及び施設の供用維持 必要な修繕を最小限行い、施設を維持する。
21	福祉施設	衣川生活支援ハウス	継続	移転	移転	令和20年度 を目途に移転。現施設は撤去
22	行政系施設	衣川総合支所	継続	維持	維持	使用目標年数まで施設を維持 改修・更新には省エネ機器導入を図る。
23	史跡附属施設	長者ヶ原廃寺跡公衆便所	継続	維持	維持	サービス提供及び施設の供用維持 史跡のガイダンス施設建設を検討しており、ガイダンス施設とともに維持管理
24	公衆便所	瀬原公衆トイレ	廃止	解体撤去	R25廃止	使用目標年数に達する 令和25年度 をもって廃止
25	公衆便所	古戸公衆トイレ	継続	大規模改修	R3大規模改修	令和3年度 に漏水解消工事を実施
26	公衆便所	一首坂トイレ及び交流館	継続	維持	維持	必要な点検や修繕により施設を維持